

クラーク博士と馬 松尾 誠之（本会理事）

クラーク博士が札幌在任中にアメリカの息子に宛てた手紙にこうあります。

「私には立派な黒い馬があります。この馬は政府所有の馬ですが、私はそれを私達の厩に置いておいて、ほとんど毎日それに乗っています。その馬は本州にある南部というところから移入されたものです。」

明治9年開拓使札幌官園の牧場が札幌農学校に移管されたときにエドウィン・ダンが家畜改良の責任者としてクラークの下にやってきました。馬匹改良では在来種と南部馬と洋種馬を交配して産馬の改良をする目論見でした。ダンが構想した新冠牧馬場は明治16年には御料牧場として充実が図られ馬産国・北海道の中核となる施設となりました。

明治10年4月16日クラークが見送りの学生たちに”Boys, be ambitious!”と激励の言葉を残して行った島松沢に師を偲ぶ記念碑建立の声が湧きあがったのは昭和9年のことでした。戦後北大創基75周年に当る昭和26年には農学校2期生の宮部金吾名誉教授が主導し山内壮夫の設計による円柱塔記念碑が完成したものの除幕式を待たずに鬼籍に入られました。クラークが去って150年経過した今、名言を残したこの地に馬上から別れを告げるクラーク像を建立し、改めて当時の別れの感動を追体験する場として永く記憶に残して行きたいと考えております。躍動感がありインパクトを与える像を建立するために国内で馬上像制作経験のある彫刻家を軸として選定作業を進めているところです。

ここで示したイメージデッサンをもとに当時の「馬上のクラーク博士」が眼前に現れてくる日を心待ちにしております。



クラウドファンディング (CF) の募金開始

当会ではクラーク博士の馬上像の建立資金をアンビシャス基金としてご寄付をお願いしており、現在までに約2千100万円の寄付金が集まっています。馬上像の建立の総費用は、約3千300万円と見込まれており、なお一層の募金活動の強化が必要となっています。

募金活動の一環として、この度、(株)ACTNOW（本社札幌）のクラウドファンディングWebサイトを利用し、広く寄付を募ることになりました。既に、CF募金の宣伝のため、JR北広島駅やJR札幌駅などで周知パンフレット



HBCのTV取材風景

配布を行っており、これを切っ掛けに、新聞やHBCのTV番組でも取り上げられ、当会の活動を広く皆様に知って頂く機会ともなりました。

このCFの返礼として、個人3万円以上、法人10万円以上をご寄付頂いた方は銅像脇に設置する銘板に記名し、完成時に発行する記念誌に公表を承諾された寄付者全員のお名前を掲載します。既にアンビシャス基金にご寄付頂いている方も同様の扱いとなります（複数回ご寄付頂いた方は、累計額が上記に達した場合は銘板に記名させていただきます）。

募金は6月1日から8月24日までの期間で下記のサイトで受付中です。

https://actnow.jp/project/clark_statue/detail



クラーク博士記念講演会・コンサートのご案内

日時：10月1日18時30分から
場所：札幌時計台ホール



クラウドファンディングのサイト画面



読売新聞 2025. 5. 28
掲載記事